

平成25年度事業報告

1 和歌山を売り出す (15,535千円)

(1) 観光地魅力発信 (14,465千円)

●観光連盟ウェブサイトの運営

◇ウェブサイトの充実

○世界遺産ページの更新、ページの新設等を行い、さらに内容を充実

○「伊勢から熊野へ」ページの新設

式年遷宮効果による誘客促進のため、日本の庶民観光の原点と言われる「お伊勢参り」「熊野詣で」をわかりやすくまとめ、観光情報サイトで公開

<時期等> 4月～

<内容>

- ・お伊勢参り、熊野詣で、熊野古道について紹介
- ・熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社、那智山青岸渡寺の紹介
- ・キャンペーン情報、熊野グルメ、モデルコース、アクセス情報等を紹介

○世界遺産ページの更新

アクセス数アップを図るため、世界遺産関連のコンテンツの入口を一つに集約し、トップページに大型バナーを配置

<時期等> 10月～

<内容>

- ・「わかやま三つ星旅」、「伊勢から熊野へ」、「街道マップ」、「熊野古道を歩くモデルプラン」等の世界遺産関連コンテンツの入口を一つに集約

○「わかやまアニメ旅」ページの制作

本県にゆかりのある「アニメ」作品について、舞台となった地などの情報を「わかやま〇旅シリーズ/わかやまアニメ旅」としてとりまとめ、観光情報サイト内に制作

<時期等> 平成26年5月公開予定

○安全安心おでかけ情報ステーション「和歌山県バリアフリー施設ガイド」ページの制作

身体の不自由な方、高齢者等が安心・安全に観光していただけるように主な観光施設や駅等のバリアフリー情報を紹介する検索システムページを観光情報サイト内に制作

<時期等> 平成26年5月公開予定

○「健康わかやまを食べに行こう！朝食メニュー」ロゴ作成

平成24年10月より実施している「健康わかやまを食べに行こう！朝食メニュー」事業の認知度を高め、統一的な情報発信やPR等に活用するためのロゴを作成

○わかやま紀州館サイトの充実

ユーザーにとって必要度の高い情報をより見やすくするため、バナーの採用やレイアウトの改善を実施

◇twitter・LINE連動による和歌山観光情報の多角発信

○わかばんtwitter (@wakayamakanko) での観光情報発信

<実績> フォロワー数約3,130人 ツイート数約1,300件

○わかやま紀州館twitter (@soon_wakayama) での観光物産情報発信

<実績> フォロワー数約4,450人 ツイート数約11,200件

○わかやま紀州館LINE (@wakayamakisyukan) での観光物産情報発信

<実績> 登録者数約2,400人 配信頻度1ヶ月約2回程度

◇facebookを活用した情報発信

○facebook (Visit Wakayama) (平成25年12月開設) を活用した情報発信

<実績> 発信回数 計50回 「いいね」獲得回数計750回

●和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかばん」等の活用

◇観光PRシンボルキャラクター「わかばん」による情報発信

○大手企業とのタイアップ

大手企業が発売する商品及びそのパッケージや広告媒体に「わかばん」を採用してもらい露出を促進

・アサヒ飲料(株)

アサヒ十六茶「イキイキ! JAPANキャンペーン」に参加し、CM出演を始め全国のスーパーにてポスター・POP掲出展開

<時期> 平成26年2月～平成27年1月

・ライオン菓子(株)

「ゆるゆる祭キャンディー」の商品パッケージに採用

<時期> 7月～

・(株)ローソン

近畿2府4県のローソンにて、和歌山県産食材を使った商品(フルーツカクテル、みかんぱん、チキンカツサンド)のパッケージに採用

<時期> 8月～

・日清シスコ(株)

菓子「全国ゆるカワビス」の商品パッケージやおまけカードに採用

<時期> 10月～

・(株)ハナヤマ

玩具メーカー老舗である同社新商品として発売された全国のご当地キャラクターをあしらった「ご当地キャラすごろくゲーム」、「日本全国ご当地キャラかるた」に採用

<時期等> すごろく 10月～ かるた 12月～

・(株)ジェイティビー西日本国内商品事業部

白浜の旅館・ホテルの一部の部屋を、わかばんをモチーフにした「わかばんルーム」にアレンジし、募集型企画旅行商品として発売

<時期> 10月～3月

・(株)ファミリーマート

関西及び中国・四国地方のファミリーマートで発売された「コンビニスイーツ・わかやまポンチ」の商品パッケージに採用

<時期> 11月～

・サンヨー食品(株)

和歌山ラーメンカップ麺「サッポロ一番・列島縦断の味・和歌山」の商品パッケージにわかばんを採用

<時期> 平成26年4月～

○県内企業とのタイアップ

県内企業が発売する商品及びパッケージに「わかばん」を採用してもらい、露出増加を促進

・妹背漆器店

<時期等> 漆器マグネット 4月～

- ・(株)オカザキ紀芳庵
- <時期等> みかんキャラメル、みかんチップス 6月～
やわらかみかん餅 9月～
- ・(株)和歌山水了軒
- <時期等> お子様弁当 7月～
- ・(有)福亀堂
- <時期等> 南紀白浜川添茶クリーム大福 わかやまみかんクリームサンド 9月～
- ・南海果工(株)
- <時期等> わかやまポンチ 2月～
- 着ぐるみでの露出
- ・JATA旅博、大阪モーターショー等のイベント参加
- ・都市圏プロモーションにおけるテレビ、新聞等のメディア訪問と駅頭プロモーション参加
- ・JR白浜駅長、南海フェリー船長 など
- バラエティー番組への出演
- 認知度向上に伴い、和歌山県を代表するキャラクターとしてバラエティー番組に出演
- ・読売テレビ「笑激の関西魂スペシャル」 8月24日放映
- ・関西テレビ「教えて！ニッポンイチ」 12月29日放映
- ゆるキャラグランプリへのエントリー
- インターネット投票で全国のご当地キャラクターの順位付けを行うイベントにエントリー
- <時期等> 9月17日～11月8日
全1,580体中553位(県内20体中8位)

◇「パンダ」イメージプロモーション

- わかやまパンダ大使・岡本 玲さん
- 雑誌、テレビ、イベントにわかやまパンダ大使として出演

●「わかやまフィルムコミッション」による地域と連携した映画等のロケ誘致

- ◇ロケ実施支援 22件

◇ロケ誘致活動

首都圏制作会社等へ年4回訪問し、人的ネットワークの構築や本県の魅力をPR

◇映画を活用した誘客キャンペーンへの参加

- 若手監督の登竜門とされる「第7回田辺・弁慶映画祭」へ参加し映画関係者との交流を図った。

<期間：11月8日～10日 場所：紀南文化会館大・小ホール(田辺市)>

- フィルムコミッション全国組織「ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア2013」へ近畿ブロックとして出展しPRを行った。

<期間：10月22日～10月24日 場所：ホテルグランパシフィックLEDAIBA(東京都)>

●観光キャンペーンスタッフ「きのくにフレンズ」によるPR活動の実施

JR西日本等主要駅でのプロモーション、JATA旅博、日本観光振興協会主催イベント、物産展等でのPR活動、メディア出演、雑誌取材でのPR活動

きのくにフレンズ：3名 延べ活動日数：164日

(2) 「わかやま紀州館」における和歌山県産品宣伝 (1,070千円)

首都圏の百貨店やイベント会場で、県産品の展示販売と観光PRを並行して行うことにより、首都圏での和歌山県の認知度向上

○ニッポン放送ラジオパーク in 日比谷

<時期等> 4月27日～28日 日比谷公園

○ココ・カラ和歌山まるかじり夏の味覚フェア

<時期等> 6月15日～16日 ダイシン百貨店

○全国人気アンテナショップ&ご当地キャラクターまつり

<時期等> 7月10日～16日 さいか屋横須賀店

7月17日～23日 さいか屋川崎店

7月24日～30日 さいか屋藤沢店

○代官山蔦谷書店物産販売

<時期等> 7月11日～8月10日 代官山蔦谷書店

○ボザッピーと全国ご当地ゆるキャラまつり

<時期等> 8月19日～25日 箱根小涌園ユネッサン

○麻布十番納涼まつり

<時期等> 8月24日～25日 麻布十番商店街

○ふるさと47ビレッジ「ふるさとマーケット」

<時期等> 10月10日 東京都庁都民広場

○濱口梧陵シンポジウム

<時期等> 10月26日 明治大学駿河台キャンパス

○ココ・カラ和歌山フェスティバル

<時期等> 11月15日～17日 有楽町駅前広場

○六義園紅葉ライトアップ物産販売

<時期等> 11月23日～24日、12月7日～8日 六義園

○全国アンテナショップフェア

<時期等> 1月7日～20日 マルイファミリー海老名店

○JOIN移住・交流&地域おこしフェア

<時期等> 1月19日 東京ビックサイト

○全国人気アンテナショップとゆるキャラ大集合

<時期等> 2月5日～14日 小田急百貨店町田店

○NHKふるさとの食、にっぽんの食 全国フェスティバル

<時期等> 3月8日～9日 代々木公園

○六義園桜ライトアップ物産販売

<時期等> 3月21日～23日、3月29～30日 六義園

2 和歌山へ招く (187,674千円)

(1) 観光プロモーション・観光情報誌作成 (73,885千円)

県内の様々な観光情報を掲載した情報誌を作成、旅行会社、輸送機関等のほか、エンドユーザーへ情報提供し、また、各種メディアを活用した情報発信、輸送機関とのタイアップなど、効率的・効果的な観光プロモーションを展開

●観光情報誌作成

◇観光情報誌「紀州浪漫」年4回発刊 発行部数：年間400,000部

○夏号(6月)「遊び尽くせ 和歌山の夏」

・水辺の体験やトレッキングなど特に女性向きの体験型観光メニューを紹介

- 秋号（9月）「和み、和らぐ。和歌山からはじまる旅。」
 - ・プレDC期間中のイベントや特に高野山周辺の魅力を紹介
- 冬号（12月）「五感を満たす 和み湯の旅」
 - ・絶景が楽しめる温泉や個性豊かな名湯を紹介
- 春号（3月）「風香る わかやま春旅」
 - ・春に体験できる観光農園や春の味覚を紹介

◇イベント情報チラシ（「旬の宅配便」）

- <時期> 年4回（6月、9月、12月、3月）発行
- <部数> 各回20,000部作成

●テレビや新聞、雑誌など各種メディアを活用した情報発信

◇企画提案活動

○テレビ、ラジオ

- ・BS朝日「歩く旅のすすめ～シェルパ斉藤のトレイルガイド」
テーマ「ロングトレイル」 6月23日放送
- ・CS旅チャンネル「ホリスティックな週末」
テーマ「聖地高野山」 26年 8月（予定）
- ・MBSラジオ 海の日特別番組「上泉雄一のラジオは自由だ」
テーマ「白浜の海」 7月15日放送
- ・MBSラジオ 特別番組「松井愛の和歌山 熊野古道を歩こう」
テーマ「伊勢から熊野」「熊野古道」 10月13日放送
- ・FM大阪「OSAKA MORNING VIEW」
テーマ「プレDC」 9月11日放送

○雑誌、新聞

- | | | |
|----------------|--------------|----------|
| ・るるぶ和歌山' 14 | テーマ「全域」 | 5月 1日掲載 |
| ・るるぶ南紀伊勢志摩' 14 | テーマ「南紀、熊野」 | 12月 1日掲載 |
| ・まっぷる和歌山' 14 | テーマ「全域」 | 6月15日掲載 |
| ・Grazia8月号 | テーマ「熊野古道」 | 7月 7日掲載 |
| ・読売ライフ6月号 | テーマ「熊野」 | 6月 1日掲載 |
| ・読売ライフ7月号 | テーマ「南方熊楠記念館」 | 7月 1日掲載 |
| ・読売ライフ8月号 | テーマ「友ヶ島」 | 8月 1日掲載 |
| ・読売ライフ10月号 | テーマ「湯浅町」 | 10月 1日掲載 |
| ・ricepaper88 | テーマ「熊野古道」 | 10月31日掲載 |
| ・OZtravel秋号 | テーマ「熊野古道」 | 9月18日掲載 |
| ・TRUNK創刊号 | テーマ「熊野古道」 | 2月 7日掲載 |
| ・DRESS4月号 | テーマ「那智の滝」 | 3月 1日掲載 |

○ムック（mook）本「だから行きたい、旅したい！和歌山の本」

<発売> 平成26年4月4日 発行部数40,000部

近畿、首都圏を中心に全国の主要書店や一部エリアのコンビニエンスストア（発行元：京阪神エルマガジン社）

<内容> 120ページ

高野山や熊野など、世界遺産情報、温泉、食、体験、海、歴史などテーマ別の「旅の目的」アクセスガイド、宿泊ガイド、期間限定のイベント情報、地元タウン誌が案内する穴場やモデルコース など

○ウェブ等

- ・WEBマガジン「fatale」 テーマ「那智の滝ほか」 5月掲載
- ・OZmall秋のおでかけ特集 テーマ「熊野」 9月17日～（1ヶ月）掲載

◇プレスツアー

○実施日：9月25～26日 参加21社25名

<内容>

京阪神を中心に中京圏他のメディア関係者を招請し、和歌山紀北キャンペーンや、白良浜ビーチヨガなどプレDC期間中のイベント、開創1200年を迎える高野山等について取材ツアーを実施

<掲載> 計15媒体

ことりっぷWEB	10月	スポーツ報知	10月2日、9日
観光経済新聞	10月5日	岐阜新聞	10月11日
中国新聞	10月12日	関西ウォーカー	10月15日発売号
デイリースポーツ広島	10月16日	中日新聞夕刊	10月17日
朝日ファミリー	10月25日	中日スポーツ	10月29日
旬刊旅行新聞	11月1日	読売ライフ	12月号
旅行読売	12月号	毎日新聞夕刊	11月11日
毎日新聞ほっと兵庫	11月20日		

◇企業とのタイアップ事業

○(株)ゴールドウインとのタイアップキャンペーン

<時期> 5月25日～7月7日

<広報> ランドネ7月号 テーマ「熊野古道」 5月23日掲載

○(株)ゴールドウイン「ヘリーハンセン」タイアップトレッキングツアー

<時期等> 10月5～7日 参加20名(20～40歳代)

<広報> ランドネ7月号 テーマ「熊野古道」 5月23日掲載
ゴールドウイン・サイト テーマ「熊野古道CP」 5月～6月掲載

○OZ女子旅EXPO ～おいしい女子旅2013～

<時期等> 9月9日 ロイヤルパークホテル 参加約1,000名

<広報> OZmall テーマ「熊野」 7～8月掲載

○OZ神々トリップ 伊勢神宮+熊野三山世界遺産ウォーク女子旅

<時期等> 12月7日～9日 参加12名

<広報> OZmall テーマ「伊勢から熊野」 10月～11月掲載

◇旬の観光情報発信

レジャー記者クラブの会員や在阪、在名等のメディアに対し、内市町村等から提供があった観光情報を随時メールで発信(約30回)

●集客力のある展示会・イベント等への出展を通じた観光PR

◇ランドネピクニック2013への出展

<時期等> 6月8日～9日 横浜赤レンガ倉庫 来場約20,000人

<内容> 観光パンフの配布・ステージPRなど

◇JATA旅博2013への出展

<時期等> 9月12日～15日 東京ビッグサイト 来場131,058人

<内容> 和歌山市、田辺観光圏協議会と共に出展
旅行会社との商談・観光パンフの配布・ステージPRなど

◇第8回大阪モーターショー「ドライブで観光コーナー」

<時期等> 12月20日～23日 インテックス大阪 来場304,319人

<内 容> 和歌山市・紀の川市・田辺市と共に出展
観光パンフの配布

◇東京スカイツリー「全国観光PRコーナー」への出展

<時期等> 3月17日～23日 東京スカイツリー5F

<内 容> 観光パンフの配布・抽選会など

●輸送機関や旅行会社とタイアップした誘客促進

交通事業者（JR西日本和歌山支社等）、地域（市町村、観光関係団体・事業所）と協働し、季節の観光素材や世界遺産登録地域について、各都市圏の旅行会社、メディア、消費者にアピールすることで誘客を促進

◇JRとのタイアッププロモーション（夏プロモーション）の実施

○旅行会社

<時期等>

・京阪神（京都、大阪、神戸、姫路） 6月6日～7日、6月18日～20日

・西日本（岡山、福山、広島、山口、北九州、福岡）

6月10日～14日、6月21日

・東 海（静岡、浜松、名古屋） 6月25日～28日

・北 陸（富山、金沢、福井） 7月 3日～ 5日

・山 陰（鳥取、島根） 7月16日～17日

・四 国（徳島、高松、高知、松山） 6月10日～11日、7月8日～10日

<訪問先> 計231店舗

・京阪神<60店舗>・東海<39店舗>・北陸<32店舗>

・西日本<75店舗>・四国<19店舗>・山陰< 6店舗>

○メディア訪問

<時期等> TV3局放映、新聞26紙掲載

・福岡市内キャラバン（6月14日） <TV1局放映、新聞3紙掲載>

・広島市内キャラバン（6月21日） <TV1局放映、新聞3紙掲載>

・岡山市内キャラバン（7月12日） <新聞6紙掲載>

・神戸市内キャラバン（7月 5日） <TV1局放映、新聞3紙掲載>

・大阪市内キャラバン（7月17日～18日） <新聞6紙掲載>

・京都市内キャラバン（6月28日） <新聞5紙掲載>

○消費者

パンフレットセット配布 約22,800部 アンケート収集 約1,950部

・JR博多駅頭プロモーション（6月15日～16日）約4,000配布 約350収集

・JR広島駅頭プロモーション（6月22日～23日）約3,000配布 約350収集

・JR岡山駅頭プロモーション（7月13日～14日）約2,000配布 約350収集

・JR三ノ宮駅頭プロモーション（7月6日～7日）約3,000配布 約350収集

・JR天王寺駅頭プロモーション（7月21～22日）約4,000配布 約200収集

・JR新大阪駅頭プロモーション（7月19～20日）約3,800配布 約350収集

・JR京都駅頭プロモーション（6月29～30日）約3,000配布

◇JRとのタイアッププロモーション（秋・冬プロモーション）の実施

○旅行会社

<時 期>

・京阪神（京都、大阪、神戸、姫路） 10月30日～11月1日、6日～7日

・西日本（岡山） 11月 8日

・東 海（名古屋） 10月28日～29日

- ・四 国（徳島、高松、高知、松山） 11月25日～27日
- ・北海道・東北（札幌、青森、秋田） 11月13日～15日

<訪問先> 計115店舗

- ・京阪神<58店舗>・東海<16店舗>
- ・西日本<15店舗>・四国<9店舗>・北海道・東北<17店舗>

○メディア訪問

<時期等> TV1局放映、新聞23紙掲載

- ・京都市内キャラバン（11月26日） <新聞4紙掲載>
- ・大阪市内キャラバン（11月27日） <新聞4紙掲載>
- ・神戸市内キャラバン（12月5日） <新聞2紙掲載>
- ・札幌市内キャラバン（11月13日） <新聞4紙掲載>
- ・秋田市内キャラバン（11月14日） <新聞4紙掲載>
- ・青森市内キャラバン（11月15日） <TV1局放映、新聞5紙掲載>

○消費者

パンフレットセット配布 約11,000部

- ・JR京都駅頭プロモーション（11月28日～29日） 約4,000配布
- ・JR新大阪駅頭プロモーション（11月30日～12月1日） 約3,000配布
- ・JR三ノ宮駅頭プロモーション（12月6日～7日） 約4,000配布

◇JRとのタイアッププロモーション（春プロモーション）の実施

○旅行会社

<時期>

- ・西日本（広島、福岡） 3月17日～19日
- ・南九州（熊本、鹿児島） 3月17日～18日

<訪問先> 計41店舗

- ・西日本<29店舗>・南九州<12店舗>

○メディア

<時期・実績> TV3局放映、新聞9紙掲載

- ・岡山市内訪問（3月5日） <TV1局放映>
- ・福岡市内キャラバン（3月10日） <新聞4紙掲載>
- ・広島市内キャラバン（3月11日～12日） <TV1局、新聞5紙掲載>
- ・津市内訪問（3月25日） <TV1局放映>

○消費者

パンフレットセット配付 約7,000部 アンケート収集 約300部

- ・刈谷ハイウェイオアシス・プロモーション（3月15日～16日）
約2,800配布 約200収集
- ・JR新大阪駅頭プロモーション（3月21日～22日）
約3,200配布
- ・名鉄観光（一宮支店）店頭プロモーション（3月26日）
約1,000配布 約100収集

◇岡山電気軌道(株)の路面電車「たま電車」による誘客促進

「たま電車」を“わかやま応援館”としてリニューアル、わかやま応援団次田尚弘氏を館長として観光情報発信

- ・「わかやま応援館」でのPR活動

<時期> 7月13日、9月16日、11月4日、12月8日・22日

- ・「わかやま応援館」での開設一周年記念

<時期等> 3月16日 岡山電気軌道(株)東山車庫

- ・岡山からの日帰りバスツアー
- <時期等> 4回実施 参加計134名
- ・両備グループホームページにおいて「わかやま応援館」のサイトを開設、本県の観光情報を提供

◇閑散期誘客キャンペーンの実施

○和みわかやま宿泊得々キャンペーンの実施

<時期> 9月14日～3月31日 <応募総数> 5,887通

<内容> 抽選で100名に3万円と、400名にプレミアム和歌山商品をプレゼント

●旅行商品の販売促進のための下見支援

旅行会社企画担当者の現地下見受入を随時行い、現地下見に係る案内や経費の支援を実施(全13社)

(2) スポーツ合宿誘致 (1,696千円)

◇キャンプ・合宿誘致

○サッカーJ1ジュビロ磐田

<時期等> 6月3日～9日 参加約45名 紀三井寺公園陸上競技場(和歌山市)

(3) 教育旅行誘致拡大 (5,583千円)

平成25年度の教育旅行来県校は、49校(教育旅行の誘致に本格的に取り組みはじめて以来、年々増加。33校がリピーター)

●旅行会社及び学校を対象とした誘致活動・支援

◇教育旅行セミナーの開催

<時期等> ・名古屋会場 8月7日 中日パレス 参加57名
 ・東京会場 2月6日 AP東京 参加68名

◇セールス活動の展開

○首都圏 <時期等> 182カ所 2月～3月ほか

<対象> 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の旅社及び高等学校

○中京圏 <時期等> 77カ所 6月～8月ほか

<対象> 愛知県、岐阜県等の旅社及び中学校

○近畿圏 <時期等> 9カ所 4月

<対象> 大阪府等の旅社及び中学校

○中国圏 <時期等> 51カ所 7月～9月ほか

<対象> 広島県、岡山県等の旅社及び中学校

○その他 <時期等> 63カ所 12月～1月

<対象> 宮城県、静岡県、北海道の旅社

◇旅行会社・学校への提案

学校の要望にあわせた旅行プランの提案・現地視察の実施 38名(12校)

旅行会社の現地視察の実施 5名

●地域コーディネイト組織の支援

支援組織 3組織

由良町教育旅行誘致協議会(由良町) 南紀州交流公社(白浜町)

那智勝浦町教育旅行誘致協議会(那智勝浦町)

(4) リレーキャンペーン (6,001千円)

◇販売促進ノベルティの協賛

<時期> 11月～2月

<内容> 一定の要件を満たした旅行商品に対して「熊野三山特別記念品」を協賛

<実績> 記念品提供数 約5,350枚

(5) 戦略的首都圏対策 (42,674千円)

●観光物産等PRイベント等の実施

◇「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン2013」の実施

○オープニングレセプション

<時期等> 11月14日 首都圏メディア及び旅行会社等260名が参加

○広報・イベント

<時期> 11月14日～1月13日

- ・“東京にある”和歌山ゆかりのスポット・スタンプラリー
- ・東京駅デジタルサイネージと八重洲コンコースでのPRイベント
- ・京浜東北線トレインチャンネル
- ・旅行サイト「じゃらんnet」での特集ページ設置と和歌山旅行販売促進
- ・雑誌「じゃらん」関東・東北版での和歌山観光モデルコースの紹介
- ・働く女性向け情報紙「シティ・リビング」タイアップセミナー
- ・和歌山県産品料理フェア
- ・パンダガールズによるキャンペーンバッグ配布
- ・関連イベントである「県産農産物首都圏PRキャンペーン『ココ・カラ。和歌山』フェスティバル2013」における観光PR

◇メディア各社への訪問及び企画提案の実施

○テレビ (抜粋)

- ・「BSジャパンスペシャル ～新緑の熊野古道を歩く～」

<放送> BSジャパン 5月15日放送

- ・「天才!志村どうぶつ園」

<放送> 日本テレビ系列各局 8月3日放送

- ・「THE世界遺産」

<放送> BS-TBS (TBS系列各局) 9月7日放送

- ・「旅サラダ」

<放送> テレビ朝日系列各局 9月21日放送

- ・『いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン』広報

<時期等> テレビ埼玉「ごごたま」 11月15日

テレビ神奈川「ありがとっ!」 11月18日

千葉テレビ「ハピはぴモーニング」 11月18日

- ・「金曜ぶらす」

<放送> BS朝日 (テレビ朝日系列各局) 1月10日放送

○新聞・雑誌等 (抜粋)

・交通新聞社「旅の手帖」5月号 全国15万部 4月10日発行

・八重洲出版「大人のバイク旅 (紀伊半島編)」 全国4万部 5月29日発行

・交通新聞社「散歩の達人」MOOK本「女子温泉旅行部」 10月16日発行

・サンケイリビング新聞社「シティリビング」

東京14特別区18万部 10月25日発行

・じゃらん (関東東北) 12月号 関東等11万部 11月1日発行

●旅行エージェントへの売り込み

◇旅行会社ファムツアーの開催（南海電気鉄道と共催）

- 高野山・熊野三山を中心に和歌山の魅力を紹介
- <時期等> 6月18日～20日 参加14社17名

◇旅行会社担当者（企画担当・販売担当）関係強化

- 現地案内、情報提供等による商品造成の働きかけ
- ・商品化（新規・改変等）9社 12商品
- 旅行会社店舗等への出前研修実施（観光地や交通アクセスなど）
- <時期等> 4月17日 近畿日本ツーリスト横浜支店
- 旅行会社訪問による観光素材説明・情報交換
- <時期等> 9月12日 東京都内5旅行会社の企画担当者を訪問
- <訪問者> 熊野三山観光協会5名、わかやま紀州館担当者

◇情報ツールの提供

- 旅行会社等から依頼に応じ、和歌山県の観光資料・画像素材等を提供

◇旅行商品販売促進支援

- 旅行商品パンフレットの「わかやま紀州館」への配置・配布
- ANAセールス、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、JR東海ツアーズ
- JTB、ジャルパック、南海国際旅行、日本旅行、阪急交通社
- びゅうトラベルサービス
- 旅行会社顧客向け講座（説明会）の支援
- ・クラブツーリズム
- <時期等> 9月 7日 参加者数：54名
- ・三越伊勢丹
- <時期等> 10月19日 参加者数：33名
- ・アルパインツアーサービス
- <時期等> 1月28日 参加者数：12名
- タイアップ新聞広告の実施
- <時期等> 2月16日 読売新聞東京本社版（朝刊）

●わかやま講座

世界遺産「高野・熊野」をはじめ歴史・文化・ブランド食など知的探求心に応える講座を実施し、和歌山の魅力発信と旅行商品の造成を促進

○大学連携講座

明治大学リバティアカデミー 参加者数：約250名

連携講座特別企画『聖地・熊野—先人たちの祈りと再生—』

- ・第1回 <時期> 5月25日 <講師> 林 雅彦氏（明治大学法学部教授）
- ・第2回 <時期> 6月 8日 <講師> 小野俊成氏（道成寺住職）
- ・第3回 <時期> 6月29日 <講師> 速水盛康氏（新宮市熊野学研究委員）
- ・第4回 <時期> 7月13日 <講師> 安井理夫氏

（湯峯小栗会会長、小栗フォーラム会員）

- ・第5回 <時期> 7月27日 <講師> 山本殖生氏（熊野三山協議会幹事）

早稲田大学エクステンションセンター 参加者数：約745名

提携講座『今、時代が憧れる心を 聖地・紀伊山地に訪ねる』

- ・第1回 <時期> 9月28日 <講師> 武内善信氏
- （和歌山城整備企画課文化財専門員）

- ・第2回 <時期> 10月 5日 <講師> 藪 邦彦氏
(高野山金剛峯寺宗務総長公室課長)
- ・第3回 <時期> 10月12日 <講師> 小野俊成氏 (道成寺住職)
- ・第4回 <時期> 10月19日 <講師> 池田雅之氏 (早稲田大学教授)
- ・第5回 <時期> 11月30日 <講師> 寺西貞弘氏 (和歌山市立博物館館長)
- メディア連携講座
 - ・サンケイリビング新聞社シティリビング
<時期等> 12月2日 参加171名
<講師> 秦 まゆな氏 (日本文化コンシェルジュ・文筆家)
 - ・代官山蔦谷書店
<時期等> 9月6日 参加40名
<講師> 森本剛史氏 (代官山蔦谷書店旅行コンシェルジュ)
西浦康代氏 (新宮市観光ガイド・熊野セラピスト)
- 旅行会社連携講座
 - ・近畿日本ツーリスト横浜支社社員研修会&勉強会
<時期等> 5月16日 参加10名
<講師> わかやま紀州館職員
 - ・クラブツーリズム
<時期等> 9月7日 参加54名
<講師> 西浦康代氏 (新宮市観光ガイド・熊野セラピスト)
 - ・三越伊勢丹
<時期等> 10月19日 参加33名
<講師> 藪 邦彦氏 (高野山金剛峯寺宗務総長公室課長)
- 各種協会連携講座
 - 東京都公園協会・六義園連携講座
 - ・パネル展
<時期等> 10月26日～12月8日 来園者約25万人
 - ・連携講座
<時期等> 11月17日 2回実施 (10時、11時) 参加66名
<講師> 村瀬憲夫氏 (近畿大学名誉教授)
- ホテル・企業関係
 - 藤田観光・箱根ホテル小涌園
 - ・小涌園ギャラリー
<時期等> 5月18日～6月30日 来場約2万人
 - ・連携講座
<時期等> 6月15、16日 参加30名
<講師> 豊田真彰氏 (高野山真言宗無量寺副住職)
- 自治体連携講座
 - ・奈良県・奈良まほろば館『紀伊山地の霊場』
<時期等> 5月1日 参加70名
<講師> 藪 邦彦氏 (高野山金剛峯寺宗務総長公室課長)
 - ・新宿区・新宿未来創造財団『ライフアップ講座』
<時期等> 9月12日 参加65名
<講師> 谷中敬治氏 (湯浅町商工会事務局長)
貝谷郁子氏 (料理研究家・フードジャーナリスト)
 - ・北区・健康福祉部健康いきがい課『健康フェスティバル北区2013』
<時期等> ①11月1日 ②11月25日 参加計181名

- <講 師> ①須川亜紀氏 (熊野で健康ラボ・熊野セラピスト)
 ②宇都宮洋才氏 (和歌山県立医科大学准教授・医学博士)
 MICHIKO氏 (食養生士・野菜ソムリエ・調味料マイスター)

○カルチャーセンター連携講座

- ・NHK文化センター東京本部 (青山教室)
 『高野山プチ修行ー写経・阿字観体験』
 <時期等> ①4月24日 ②5月30日 参加計24名
 <講 師> 白馬秀孝氏 (高野山真言宗郷福寺副住職)
 『古事記の舞台を歩く 熊野～神々の寄りつく世界～』
 <時期等> 7月12日 参加30名
 <講 師> 三浦祐之氏 (立正大学教授)
- ・NHK文化センター横浜支社 (横浜ランドマーク教室)
 <時期等> 2月8日 参加32名
 <講 師> 丹生晃市氏 (丹生都比売神社宮司)
- ・経学園 (銀座おとな塾)
 <時期等> 4月～1月 (月1回) 参加189名
 <講 師> 豊田眞彰氏 (高野山真言宗無量寺副住職)

◇わかやま講座連動旅行商品造成

○クラブツーリズム テーマ旅行部カルチャー旅行センター

『日本の聖地を旅する』クラブツーリズム専用列車「かぎろひ」で行く「お伊勢参り」から「熊野詣」へ2泊3日の旅

<時 期> 6月12日～14日、6月23日～25日

<同 行> 熊野本宮語り部の会、熊野・那智ガイドの会

『世界遺産熊野古道を歩こう』世界遺産唯一の川の参詣道 熊野川舟下りと熊野三山・中辺路をあるく2泊3日の旅

<時 期> 10月25日～27日、11月19日～21日

<同 行> 新宮市観光ガイドの会

『こころの旅』伊勢神宮で「一年のおかげ参り」と熊野三山で「初参り」日本の旅の原点をたどる熊野古道のこころの旅5日間

<時 期> 12月29日～1月2日

<同 行> 熊野本宮語り部の会、熊野・那智ガイドの会

○三越伊勢丹

『三越の旅ロイヤル』につぼんの心と原風景を求め、錦秋の奈良・和歌山へ紅葉の聖地

・高野山 九度山と奈良特別公開寺院を訪ねる3日間

<時 期> 11月8日～10日

<同 行> 高野山ガイド

○代官山蔦谷書店

『代官山Tトラベル』旅行コンシェルジュと2泊3日で廻る日本の源郷熊野ディープな熊野古道巡り

<時 期> 11月8日～10日

<同 行> 森本剛史氏 (代官山蔦谷書店旅行コンシェルジュ)

○早稲田大学エクステンションセンター・JTB

『トラベルスタディ』晩秋の聖地「高野山・熊野古道」に日本の心をたどる

<時 期> 11月29日～12月1日

<同 行> 池田雅之氏 (早稲田大学教授)、藪 邦彦氏 (高野山金剛峯寺)
 小野俊成氏 (道成寺住職)

◇講座参加者データベースを活用した観光情報の提供
<時期等> 9月 約2,500名

(6) 観光センター運営 (27,834千円)

●わかやま紀州館実施事業

◇観光PR及びアンテナショップ概要

開館日数 359日 (休館は年末年始6日間)

観光来館者数 31,768人

物産購入者数 90,628人 (レジ通過者)

物産売上高 9,081万円

◇講座・セミナー

開講数 44講座 受講者 約2,200人

◇旅行エージェント対策

ファミトリップの開催 (1回) 14社17人参加 商品化 (新規・改変) 9社12商品

●名古屋観光センター実施事業

◇熊野古道ウォーキングセミナー

日時: 9月20日

場所: 中日パレス

概要: 熊野三山の祈りの道、三コースを語り部によって紹介

来場者: 200名

◇熊野姫旅カフェ

日時: 9月21日

場所: レストランZenZero

概要: 女性の好む熊野のパワースポットなどを熊野スイーツを味わいながら学ぶ

参加者: 40名 (女性限定)

◇写真展

○「世界遺産の町 新宮」写真展

日時: 4月9日～14日

場所: 中日ビル2階ギャラリー

○「世界遺産 熊野の四季 野の花・山の花」写真展

日時: 4月23日～29日

場所: 中日ビル2階ギャラリー

○「串本海中フォトコンテスト」写真展

日時: 6月11日～16日

場所: 中日ビル2階ギャラリー

◇ふるさとフェア

日時: 春4月22日～26日 冬12月2日～6日

場所: 中日ビル4階

概要: 中日ビル入居の他県(20)合同で観光PRと物産展

◇ふるさと全国県人会まつり
日時：9月8日～9日
場所：栄久屋公園広場
概要：観光PR・県特産品PR販売・郷土芸能披露

◇熊野姫旅手帳作成
女性をターゲットにしたパワースポットや熊野のスイーツを掲載し、ハンドブックとして利用する。20,000部作成。

(7) 国際観光推進 (30,001千円)

香港、台湾、韓国、中国等の東アジア、タイ、シンガポール等の東南アジア及びフランス、イタリアなど欧米豪からの外国人観光客の誘致を推進

●海外メディア取材誘致等による海外への情報発信

◇香港

2月4日～7日 雑誌「U MAGAZINE」(VJ三重県連携)
3月13日 雑誌「HONG KONG WALKER」(VJ奈良県連携)

◇台湾

12月4～6日 雑誌「行遍天下 Travel com」、ブロガー2名(岡山県連携)

◇韓国

4月11日 巨済新聞
4月23日～24日 ブロガー4名(関西地域振興財団連携)
9月27日～28日 HANA TOUR
11月6日～8日 雑誌「WINE REVIEW」
12月4日～6日 雑誌「Bar&Dinning」、ブロガー2名(JR、岡山県との共同事業)
2月3日～5日 ブロガー4名(関西地域振興財団連携)
3月3日 ブロガー1名(奈良県との共同事業)

◇中国

12月18日～19日 北京旅行雑誌「玩趣天下」
3月15日～16日 天津電視台等15社

◇東南アジア

5月29日～6月2日 タイ・旅行雑誌「まるごとタイランド」
5月30日～6月2日 タイ・テレビ番組「FAN TV」
6月7日 マレーシア・テレビ番組「Astro TV」
9月1日～4日 タイ・テレビ番組「Sugoi Japan」
9月22日～26日 タイ・ファッション雑誌「Sudsapda」
12月1日～2日 シンガポール・テレビ番組「Letting Go」

◇欧米豪

取材支援

4月7日～11日 カナダ航空機内誌「enRoute」
4月25日～26日 ニュースサイト「CNN」
6月18日～21日 英国・日刊紙「The Independent」
6月25日～30日 フィンランド旅行雑誌「Oma Aika」

11月2日～5日 豪州・TV番組「Explorer Japan」
11月14日～18日 豪州カンタス航空機内誌
2月20日～22日 フランス・日本旅行専門誌「Planete JAPON」

●海外エージェント視察（下見）招請による旅行商品造成支援

◇香港

○ファムツアー

11月15日～17日 2社

◇台湾

○旅行会社及びメディアファムツアー

10月29日～11月2日 翔笙旅行社等5社、中国テレビ

○熊野古道ハイキングツアー下見

11月11日～14日 La new、保保旅行社等 3社

○旅行会社ファムツアー

12月15日 ライオントラベル

○旅行会社及びメディアファムツアー（関西地域振興財団連携）

2月21日～22日 易飛網旅行社等16社 復興航空、新聞社2社、
ブロッガー1名

◇韓国

○下見支援

4月10日～12日 釜山地域旅行会社、船会社7社

5月10日～13日 釜山地域旅行会社、船会社18社

○旅行会社下見支援（レンタカー商品造成）

6月11日～14日 TNT TOUR

○旅行会社下見支援（関西地域振興財団連携）

10月7日～9日 旅行会社（旅行博士等）5社

○旅行会社メディア下見支援（仏教関連）

12月14日～16日 旅行会社（ホドレポーツ等）2社、
メディア他（仏教新聞等）3社

○旅行会社下見支援

2月17日～19日 釜山周辺地域旅行会社20社

◇中国

○ファムツアー

10月20日～21日 広東省旅行会社 16社

2月10～14日 大連市旅行会社 5社

3月16～17日 江蘇省・浙江省等旅行会社、メディア等 4社

3月25～28日 北京市・上海市旅行会社、メディア等 10社

◇アジア

○下見支援

7月1～5日 タイ・Asia Pacific Service社ほか23社

7月7日～8日 フィリピン・Rakso Travel社ほか39社

7月28日～8月1日 ASEANTA（東南アジア諸国連合観光連盟）国際会議の招聘

8月1～2日 タイ・NEX WORLD社、iDreama Journey社

11月30～12月2日 シンガポール・マレーシアTokyo Asean Service社、
Dynasty Travel社ほか7社

1 2 月 2 4 日 タイ・アジアランドサービス社
2 月 1 日～5 日 タイ・Accord Travel社ほか 1 5 社

◇欧米豪

○ファムツアー

1 2 月 9 日～1 0 日 スペイン・Ibero Japan社
1 2 月 1 6 日～1 7 日 アメリカ・Panda Travel社ほか 1 1 社

●若年層の交流に向けた教育旅行の誘致促進

◇台湾

教育旅行現地説明会参加及びセールススクール

9 月 2 2 日～2 6 日 教育旅行現地説明会（台北・台中・高雄）（2 3 日～2 5 日）
セールススクール（台北・台中・高雄）
旅行会社（喜鴻旅行社等）4 社
教育機関（彰化女子高校等）3 校

●プロモーション・商談会他

◇プロモーション

5 月 1 6 日～1 7 日 ASEANトラベルマート2013への出展

◇商談会

○JATA国際観光フォーラムへの出展

9 月 1 2 日～1 3 日 東京都 1 0 社と商談

○YOKOSO! JAPANトラベルマート2013への出展

1 1 月 2 7 日～2 9 日 横浜市 3 0 社と商談

●広告支援

◇共同広告

- ・テレビショッピング 韓国 2 件・テレビCM 韓国 1 件
- ・新聞広告 台湾 4 紙、香港 1 紙、シンガポール 2 紙
- ・雑誌広告 香港 1 件・ラッピングバス 台湾 1 件

●パンフレット作成

◇観光指南パンフレット作成（英語版、ハングル版、繁体字版、簡体字版）

- ・数量：英語 1 2, 0 0 0 部 その他 各 5, 0 0 0 部

◇心パンフレット作成（英語版）

- ・数量：7, 5 0 0 部

3 和歌山でもてなす (5,347千円)

(1) 人材の育成 (5,347千円)

「ほんまもん体験」プログラムの品質向上及び紀州語り部の資質向上

●体験インストラクターの技術力向上のための現地研修会実施

県内体験事業者研修の実施

<時期等> 3 月 1 2 日 和歌山県民文化会館（和歌山市）
ビッグU（田辺市） 参加計 4 1 名

<内容等>

- ・「旅行会社から見た体験観光について～成功のポイント」
(株) J T B 西日本 西日本国内商品事業部 高橋 広 氏
門田 小百合 氏
- ・「お客様をお迎えする際の接客マナーについて」
(株) ザ・アール専属講師 杉浦 いづみ 氏

●紀州語り部の資質の維持・向上のための研修会への支援及び実施

◇紀州語り部連絡協議会の開催

- <時期等> 3月13日 紀三井寺はやし 参加38名
- <内容> 各語り部間の相互連携を図るための会議を開催

◇紀州語り部研修会の実施

○県内研修会

<時期等>

- ・2月 4日 和歌山県民文化会館 参加40名
- ・2月 5日 東牟婁振興局 参加34名
- ・2月 9日 九度山町中央公民館 参加20名
- ・2月23日 中辺路コミュニティーセンター 参加22名
- ・2月24日 本宮行政局 参加12名
- ・2月25日 田辺市青少年研修センター 参加37名

<内容等>

- ・「接客の基本を見直し、「伝える」技術の向上について」(6会場)
(株) ザ・アール専属講師 杉浦 いづみ 氏

◇紀州語り部ガイド手引きの作成

- <作成部数等> A5版 92頁 1,000部
- <内容> ガイドレベルの向上に寄与するため、ガイド手引きを作成

4 和歌山ファンクラブ運営他 (15,473千円)

(1) コンベンション誘致推進 (13,634千円)

◇開催支援

○コンベンション開催助成金による支援

- ・助成金交付件数 25件 ・延べ宿泊者数(県外から) 16,658人

○開催ツールの提供

- ・ツール交付件数 18件

◇誘致活動

○旅行会社へのPR

J T B 和歌山支社及び国内団体仕入れ部

○県内大学等へのPR 7機関

日赤和歌山医療センター、和歌山労災病院、和歌山県立医科大学
和歌山大学、高野山大学、近畿大学生物理工学部、信愛女子短期大学

○主催団体へのPR及び開催意向調査 184団体

- 主催団体が活用する業界誌へ広告掲載
 - ・季刊誌「展示会とMICE」春号
 - ・トラベルニュース1月25日号
 - ・「2013年版今のヒットはこれだ！」ミスターパートナー
- 国際ミーティング・エキスポ IIME2013への出展
 - 主体団体、旅行会社、コンベンション企画運営企業などにPR
 - <時期等>12月10日～11日 東京国際フォーラム 来場者1,988名
 - <備考>和歌山市、白浜町、白浜観光協会協働

(2) 和歌山ファンクラブ運営 (339千円)

県内外の方々に和歌山を知っていただき、リピータ化を促進する「和歌山ファンクラブ」を運営する。会員数：533名

- バスツアー
 - ・2月22日「熊野古道紀伊路スタンプを集めよう！！」湯浅町他 参加者61名

(3) 公益社団法人日本観光振興協会協働事業 (1,500千円)

- ◇日本観光振興協会関西支部主催観光展
 - 福岡観光
 - <時期等> 10月26日～27日 福岡「ソラリアプラザ・ゼファ」
 - <内容> 関西支部2府5県での観光PR
観光パンフの配布・ステージPR・アンケート抽選会など
 - 横浜観光展
 - <時期等> 2月7日～9日 横浜新都市プラザ（横浜そごう前）
 - <内容> 観光パンフレットの配布・ポスターの展示
 - 京都観光展
 - <時期等> 3月7日～9日 JR京都駅ビル2階
 - <内容> 観光パンフレットの配布・ポスターの展示

5 熊野古道宿泊施設運営 (8,188千円)

概要 高野・熊野の世界遺産登録効果の継続を目的に、団塊の世代やウォーカーを主な対象とした、熊野古道への新たな「歩き巡る旅」を提案するため「熊野古道の宿霧の郷たかはら」を運営。

場所 田辺市中辺路町高原826番地

施設概要 木造平屋建 555.26㎡
客室8室（トイレ付き）定員 28名

運営事業者 KTM霧の郷たかはらコンソーシアム

利用実績(平成25年度)

	実績	H24年度比
利用者数	3,990人	+630
定員稼働率	39.0%	+7.8
部屋稼働率	63.6%	+13.5

宿泊者発地別一覧

	人数(人)	割合(%)
県内	232	5.8
大阪府	521	13.1
その他近畿	341	8.5
東京	389	9.7
東海	512	12.8
その他国内	1,278	32.0
海外	717	18.0
合計	3,990	

月別宿泊者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
宿泊者	365	342	234	296	519	403	380	377	260	199	186	429

<活動実績>

- ・じゃらん、楽天などインターネットを通じた情報発信
- ・共同購入型クーポンサイト「グルーポン」にて日帰りプラン販売
- ・たかはらマーケットの開催